

# 積み上げてきた強み

当社は創業から現在に至るまで建機ビジネスを展開していますが、その過程でビジネスモデルを変革しながら、現在の強みの源泉となるさまざまな資本を積み上げてきました。これらの資本を戦略的に活用し、増大させていくことにより、さらなる価値創造を追求していきます。

注：数値は 2024 年度実績もしくは 2025 年 3 月末時点のものです。

## ▶ 財務資本

健全な財務体質

キャッシュフローの安定化、リスク管理の強化などを通じて、安定的な経営基盤を構築しています。事業活動で得た利益は、持続的な成長と企業価値向上に向けて、積極的な投資と安定的な経営・財務基盤の確保に優先的に配分します。また、情報開示を徹底し、透明性の高い企業経営をめざしています。



- 親会社株主持分(自己資本) : 8,093億円
- ネット有利子負債 : 3,907億円
- 連結配当性向 : 45.7%

## ▶ 製造資本

グローバルな生産体制を構築

日立建機グループは、オランダ、インドネシア、インドなどに主要生産拠点をもち、世界トップクラスの品質と信頼性を持つ製品を供給しています。また、世界各地に部品再生工場を設け、お客さまのニーズに迅速なサービスでお応えするグローバルなサポート体制を確立しています。



- 生産拠点 : 国内13カ所、海外10カ所
- グローバル拠点への投資拡大(2027年度までに500億円)
- グローバルな部品再生事業の展開

## ▶ 知的資本

革新的な技術を生み出す組織風土

1970年の創業以来、油圧ショベルをはじめとする建設機械の独自技術とノウハウを蓄積してきました。特に油圧技術、電子制御技術、遠隔操作・自律運転などにおいて強みを有しています。近年では、社内の知識資産を体系化するとともに、全社的なデジタルスキル向上の施策を展開しています。



- 研究開発費 : 375億円
- 海外特許出願比率 : 30%以上
- 各種特許権、現場運営ノウハウ

## ▶ 人的資本

多様な人材が共通の価値観のもと活躍

日立建機グループでは、世界中で多様なバックグラウンドを持つ従業員が働いており、これらの人々の自律性を尊重しつつ、統一された人材マネジメントを推進しています。「Kenkijinスピリット」のもと、グローバルでの価値観の一体化と従業員エンゲージメントの向上を図っています。



- 連結従業員数 : 26,101名
- 多様な地域の従業員 : 日本39.5%、海外60.5%
- 独立社外取締役5名(男性3名、女性2名)

## ▶ 社会・関係資本

ステークホルダーとの深い信頼関係

日立建機グループは、お客さま、代理店、パートナーと共に、デジタル技術の活用を通じて、お客さまとのあらゆる接点において提供するソリューションを深化させています。なかでも日立建機が2013年から展開してきた「ConSite」は、契約台数約28万台の実績を誇ります。



- 当社機の稼働台数 : 全世界で約41万台
- グローバル9事業部の販売ネットワーク
- 世界100以上の国と地域で事業を展開

## ▶ 自然資本

ライフサイクル全体での環境負荷低減に貢献

製品設計段階から環境負荷低減を重視しており、電動化建機をはじめとする省エネ性能・排出ガス低減などを通じて、ライフサイクル全体での環境負荷低減に努めています。また、中古車・レンタル、部品・サービスなどバリューチェーン事業を強化し、資源の有効活用と廃棄物削減にも寄与しています。



- 生産(Scope 1+2) CO<sub>2</sub>削減(総量) 2010年度比 : 43.0%
- 製品(Scope 3カテゴリ-11) CO<sub>2</sub>削減(総量) 2010年度比 : 24.0%
- 長期稼働機台数増加率<sup>※</sup> 2022年度比 : +22.3%

※マイニング機械の総稼働台数に対する長期稼働機(6万hr以上)の割合増加率